

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 平成37年3月31日			
放課後等デイサービスこんぼす					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・人数が多いときや騒がしいときなど、静かに過ごしたい人には2階を利用するなど対応できている。 ・部屋は個別で使用できるようになっている。 ・グループ分けなどして工夫し、ひとりひとりに合った環境、療育が提供できるように配慮している。	・設備基準を満たしていますが、活動場所の細分化を図る等の検討をします。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6		・お子様の状態に合わせて配慮している。	・利用定員に対して、基準を満たした職員数の配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・スロープの設置など難しい所もあるが、手摺・転落防止柵等設置し対策している。 ・引き続き整理整頓を行い環境を整えていく。	・必要に応じて設備の検討を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・利用開始前には毎日清掃を行い清潔を行っている。活動やお子様の状態に合わせている。	・安心、安全に過ごせるよう整理整頓を踏まえ、感染症対策等を踏まえた環境整備を行います
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・子どもの気持ち落ち着かない際は静かに過ごせる別室にいつでも移動できる環境作りをしている。 学習室や相談室を利用し必要に応じて対応している。	・今後も状況に応じて柔軟に対応できる環境作りを行います。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		・日々の打ち合わせや職員会議で業務改善等支援についても振り返りを行っています。	・打合せや職員会議にて具体的な支援方法の検討、改善等について話し合いを行っています。状況に合わせた会議も行っていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年アンケートを実施し結果を確認して改善している。 ・アンケート調査を行い保護者様の意向などを把握し業務改善に努めています。	・会議にて、アンケート結果の周知やいただいたご意見からより良い支援に繋げられるよう話し合いの場を設けています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・日々支援している中で気付いたことなど打ち合わせの時に話し合っている。 ・打合せや職員会議で話合った面談やアンケートを行っている。	・職員会議や個別の面談機会を設け業務の改善を含めた話し合いを行います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・外部依頼することはないが、研修を受け見直し改善している。 ・現在は行っていません。今後検討していきます。	・現在は外部評価を行う事はありませんが、今後、外部評価を含めた検討を行い業務の改善に努めていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所内で毎月研修を行っている。 ・アレルギー症状のEIPベン講習を積極的に取り入れたらより職員の資質、技術の向上ができると思う。 ・研修を受講する機会が山あり字びになっている。 ・外部、内部研修ともに行っています。外部研修に参加した場合は共有している。	・年間研修計画の他、必要と考えられる外部研修参加機会を設けていきます。又、研修参加後には伝達研修の機会を設けます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・職員間で相談しながらプログラムを作成、お便りなどで保護者様などにお知らせしています。	・ホームページに記載しています。 (http://compasses.work) また、お便りでお伝えいたします。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・6か月ごとに職員間でモニタリングを行い、保護者様に対面してニーズの確認を行った上で計画を作成しています。	・普段の生活の様子にてアセスメントを行い保護者面談にてニーズを把握し、会議にて計画書の作成を行っています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・毎月ケース会議を行っている。 ・モニタリング、ケース会議などで職員全体で検討しています。	・全職員にてケース会議を行い計画の作成を行っています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員日々の打合せや会議で共有したり全員の見解を出し合う場が多く計画に添えていると思う。 ・モニタリング、ケース会議に職員全体が参加検討しそれに対する具体的な支援についても共通認識できるように努めている。	・上記同様全職員にてケース会議を行い、計画を共有し支援を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			・VineLandを使用したアセスメントを行っています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・SSTやLST等で活動の評価を行い、それらを基に支援の段階を合わせている。 ・ガイドラインに従ってすべての項目について基準を満たしたお子様の年齢や発達段階に応じたご意見、ご家族のご希望などを反映しお子様の最善の利益を常に優先して作成しています。	・ガイドラインを周知し支援に必要な項目が適切に設定されるように研修を踏まえた理解を含め具体的な支援の提供が行われるようにします。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員間で話し合い、骨組みやアドバイス、より楽しく安全で学びになる活動になるようにしていると感じる。 ・担当者を中心に意見を出し合い、当日のお子様の様子を踏まえ決定しています。	・日々の活動は担当者を立てていますが、打合せ等でより良い活動の提供が行えるような話し合いを行っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・ご要望の多い活動については頻度が多くなることはありますが季節やお子様の様子発達段階にあったプログラムを意図して活動の計画を行っている。	・同一の活動内容でも評価項目を設定すると共に発達段階に合わせた活動プログラムを検討します。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・お子様、保護者の方のご意見を取り入れながらその時のお子様の状況を把握して個別、集団活動を考慮し計画している。	・個別、集団活動での支援を踏まえた計画書の作成を行っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・子どもたちが来所する前に、その日に来所する子どもの特性や状況等考慮して支援できるように打合せを行っている。 ・支援前にその日の担当者を中心に活動内容や留意点役割分担などを話し合っている。急な予定の変更時はLINEを使用するなどして共通認識をもって支援している。	・支援方法について職員間で共有し連携のとれた支援について打合せを行っています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・情報共有ツールを利用して活動の振り返りや気付きをすぐに共有できていると思う。 ・翌日ではあるが行っている。特記事項は即伝達することができている。 ・打合せ、日報、支援記録などで活動や支援について振り返り情報共有を図っている。	・日報や支援記録、翌日の打合せで支援についての振り返りを行っています。
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・誰が見てもわかりやすく正確に記録することを中心に行っている。記録からお子様の変化、成長を読み取り複数の目で見直し見逃さないよう検証している。	・日々の支援内容や様子についての記録を行っています。	
23 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6か月に1度モニタリングを行っているが必要に応じてそれ以外の時期でも見直しを行っている。	・全職員参加のケース会議を行い、計画の見直しについて話し合いの場を設けています。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・お子様の特性や利用回数を考慮しながら4つの基本活動に沿った活動計画を組み立てている。	・ご利用児童の発達段階等を踏まえた基本活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し支援を行っています。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	6		・活動を複数用意して子どもたちに寄り添った工夫がされていると感じる。又、気分が乗らない子供に対して自身で選択できる環境作りがなされていると思う。 ・SST等を通して少しずつ自分の感情や他者の感情を理解し適切に対応する力を身に付けられるよう支援したり、面談などを通して話しやすい環境作りを行っています。	・児童の最善の利益を考慮した対応を行っています。今後も自己選択、決定に関する研修を行い、支援の質を向上できるように取り組みを行っています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者や児童発達支援管理責任者以外にもふさわしい職員が参加できるようにしています。	・左記同様、ふさわしいと思われる職員が会議などに参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じて情報共有を行っています。参観日等に参加し学校の様子も情報を得ています。	・必要に際して情報を共有し支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校と適宜連絡を取り合い連絡調整を行っていると感じる。 ・年間行事予定はいただける場合とHP等で確認する場合があります。連絡調整に土日は電話やFAX送迎時に直接お話をしています。	・適宜、学校と連絡をとり調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・保育園などからは連携は行えていませんが担当職員や他の児童発達支援事業所とは情報共有を行っています。	・相談支援事業所担当職員より必要な情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・相談支援事業所と連携を取り支援内容の情報提供をする場合もあります。	・必要に応じて情報の共有を行ってまいります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・今年度は残念ながらスーパービジョン研修に参加することができませんでしたが積極的に参加していきたい。	・スーパービジョン研修には参加できませんでしたが、必要に応じて研修の参加を行います。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・児童クラブや児童館との交流は出来ていないが、地域交流を目的とした活動を年数回取り入れている。 ・他の事業所の方々と連携し、ハロウィンパーティーを行うなど地域の子どもと活動する機会があった。 ・地域交流を含めたイベントの企画を行います。	・事業所を通したイベントを開催し、地域との交流を深められるよう行事の企画をしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・協議会への参加を行っています。	・協議会の開催がある際は参加させていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・気付いたことは連絡帳や電話・LINE等で情報共有している。 ・ご自宅の送迎時や病院などの受診結果等その時々で保護者様とお話しし共通理解を図っています。	・必要な情報などは確認させていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ベアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・保護者様からのご相談があった原や必要であると判断した場合提案やアドバイスを行っています。	・積極的な家族支援プログラムの実施は行なっていません。今後、お便りやSNS等を通して発信していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・ご契約時にご説明させていただいております。 ・ご不明な点があればいつでもご説明いたします。	
	保護者への説明等	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・おこさま、保護者様のご意向を確認するためそれぞれ個別に面談を行いご意見ご要望を伺っています。	・ご本人やご家族との面談機会を設け、ご意向を確認する機会を設けています。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・保護者様には対面にて計画についてご説明させていただきご理解をいただいております。	・計画説明時にお伝えし同意をいただいております。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者様からご相談をいただいた際には適切な支援、助言となるよう職員間で情報の共有を行います。	・ご相談をいただいた際は面談の場を設けるなどの対応をさせていただいております。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・令和6年度は父母の会活動は行われていませんが「こぼす祭り」等を通して保護者の方々が交流することができると提供しています。又、ご家族様姉妹等にご参加いただいております。	・事業所イベント時にご家族をご招待し事業所での様子や保護者同士の交流の場を設けています。が、積極的な保護者会の開催は行なっていません。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情受付担当者を配置して苦情があった際には苦情解決委員会を開催して迅速かつ適切に対応します。	・苦情対応マニュアルの策定をしています。又、研修にて見直しや周知を行っています。	
42		定期的に通信等を送付することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・月に1度お便りを発行し写真や文章で子どもたちの様子を発信している。HPに写真をのせたらより親しみが持てるのではと感じる。（個人情報にならない程度で） ・こぼす祭りの毎月お便りしています。	・月1回、事業所のお便りを発行しています。又、HPにて必要な情報を掲載しています。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・注意し取り扱っている。 ・個人情報に沿った対応を行うと共にデータなどにも適切に管理しています。	・個人情報保護法に沿った対応を行っています。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ご利用時にお話を伺うご要望やお子様の特性などに合わせて必要な確認をしている。	・ご家庭やご利用時などの様子、状況について情報共有を図っています。今後も情報伝達等について配慮していきます。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・「こぼす祭り」等にご近所の方々をご招待し子ども達が作ったうどんやクレープ等を食べていただいた。今後も感染症の状況も見ながら機会を設けたい。	・積極的な事業所運営についての周知は行なっていませんが、地域の方も参加いただけるイベントを開催しています。	
非常時等の対応		46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・周知はあるが訓練の実施ができていないところが多い。 ・毎年2回の避難訓練を行っています。実際に避難する練習の他、お子様自らが避難経路を検討する回上訓練や通報のロールプレイ、火災用備品の確認を行っています。	・年間計画にてマニュアルの周知と見直しを行っています。
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画は策定しており年間計画に沿った訓練を行い、マニュアルの見直しもしています。	・BCPの策定をしています。又、年2回の見直しを行っています。
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・ご契約時服薬やてんかん発作など、アレルギーについても用紙に記入していただき漏れの内容を確認させていただいています。	・事前にご家族より情報をいただきご利用児童の状況を確認し支援しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・前もってご家族や本人から情報を得て職員内で共有している。 ・ご契約時に確認させていただき対応させていただいております。	・アレルギーへの対応として、ご家族より情報を得ています。又、重篤となる可能性のある場合には医師の指示書をご提示いただき、指示書に基づく対応を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・打合せにて危険箇所や注意点等について話し合いを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・お便り等で周知を図っています。	・災害時対策計画や防犯対策マニュアルを策定しています。ご家族との連携については今後も深める必要があるため、積極的に周知ができるよう対応していきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハット発生時は打ち合わせや会議等で確認話し合っている。 ・打合せや職員会議で共有し、検討を行っています。	・事故発生防止のための指針を策定し、研修にて職員への周知を行い、事故まで至らない事柄についてはヒヤリハット報告書を作成し職員の共有と検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行っている。 ・月に1度のペースで研修の機会が確保されているので学びが定着しやすいと感じている。 ・虐待防止対応委員会の設置、虐待防止対応マニュアルの策定を行っています。虐待防止に対する研修に参加しています。	・定期的な研修にて、虐待防止対応マニュアルを確認すると共に外部研修等の参加機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・ミーティング等でも情報を共有、支援を振り返っています。保護者との話し合いや職員、職員間でのミーティングを行い、適切な支援ができるよう対応を検討する。必要場合は保護者の同意を得たうえで個別支援計画に記載し実施の記録を残す対応をする。	・定期的に研修にて、身体拘束等の適正化のための指針（マニュアル）を確認すると共に、個別支援計画にて身体拘束の説明を行い同意を得た上で支援の提供をしています。		